

～山梨県峡東地域に伝わる「七夕」を再現～

・*☆エントランスロビーに 郷土の七夕飾り☆*・

2009年6月

フルーツパーク富士屋ホテル(支配人 角田 洋和 所在地:山梨県山梨市江曾原 1388)
では、7月1日(水)～7月8日(水)まで、ホテルのエントランスロビーに 地元山梨市に古くから伝わる「七夕飾り」を再現します。

当ホテルが位置する山梨県峡東地域(笛吹川流域)の市町村には、この地域に伝わる独特な「七夕」文化があります。

この七夕の風習は、昭和30年代まで各家庭で行われていたようですが、現在では山梨市と甲州市勝沼町で僅かに残っている程度だそうです。(七夕の特徴については2枚目を参照)

この「七夕」については、現在、山梨市で保存継承活動に取り組み始めているほか、甲府市内の幼稚園でも園内に飾り子供たちに触れさせるなど、いま再生が試みられている地域文化のひとつといえます。

当ホテルでは、若手社員が集まりホテル主宰の催しを企画検討するプロジェクトチームがありますが、この中で「地域と共に語り歩み、利用者に愛されるホテル、という開業当時のビジョンに基づき地域の活性化に貢献したい」という主旨の企画が多数提案されています。

今期は「七夕飾り」を行う計画の中でこの七夕の存在を知り、再現することにしました。

長い年月受け継がれてきた愛すべき郷土の文化を紹介することで、来館者にも地域の特色を知ってもらう機会にもなり、また懐かしさを感じていただければと思っています。

当ホテルでは、伝統文化の再生への取り組みは「時を経ても古くならない、創業時の気持ちを忘れない、永遠に続く」といったホテルのコンセプトに通じるところがあり、このような活動を今後も継続していきたいと考えています。

「郷土の七夕飾り」～峡東地域に伝わる七夕を再現～

■期 間 2009年7月1日～7月7日(翌8日朝)まで

■場 所 エントランスロビー (見学自由)

来館者に短冊を配布し願い事を書いて笹に結んでもらうなど、七夕の雰囲気と一緒に楽しめる展示を予定しています。

■お問合せ 電話0553-22-8811 フルーツパーク富士屋ホテル



山梨市市川 杉田家の七夕飾り

【このリリースに関するお問合せ】

フルーツパーク富士屋ホテル 営業課(広報担当) あめみや るみ 雨宮 留美
TEL: 0553-22-8811 FAX: 0553-22-3988
URL: <http://www.fruitpark.jp/> MAIL: r-amemiya@fujiyahotel.co.jp
〒405-0043 山梨県山梨市江曾原 1388 笛吹川フルーツ公園内



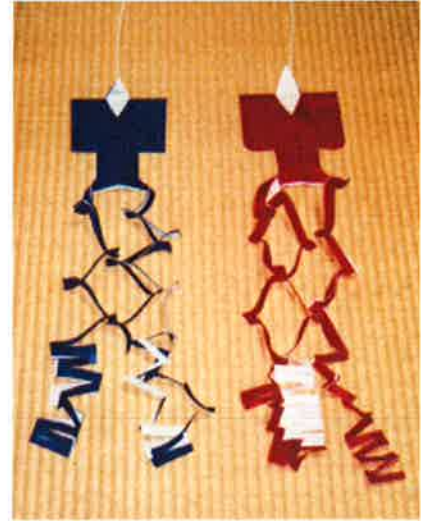
☆ 笛吹川流域に伝わる「七夕」の特徴

笛吹川流域に伝わる「七夕人形」は、地域や家庭で多少の違いはあるが、男女2体の紙人形で、概ね胴部と長い脚から成り、頭部はV字型の切り込みを起して表されていることが特徴です。この男女2体は笹の上部に付けるが、男の人形を女の人形より少しだけ上の方に飾り、笹竹の中央には天の川を模った網を飾ります。他には、五色（紫・赤・緑・白・黄）の短冊に願いを書いて吊るします。

次に、七夕人形は、翌日小さく畳んで檀紙に包み、「〇〇年七夕」と表書きをし、玄関の内側（地域によっては蔵の中）に打ち付ける。これを「オルスイサン」と呼び、留守を守るという役目をするそうです。

また、飾り付けた笹竹は家の前庭に立て、翌日朝日が昇る前に裏の畑の入口へ持って行き立てておくことで、それから一年間（次の笹竹が来るまで）泥棒よけとして働くのだそうです。

（参考文献：信清由美子「山梨の七夕人形」）



*信清由美子「山梨の七夕人形」<http://www.geocities.jp/seijiishizawa/NewFiles/orusuisan.html>

山梨市市川にお住まいの杉田房さんにも七夕にまつわるお話を伺ったり、作り方を教えていただくなどのご協力をいただきました。